

全学生
全教職員

【第13報】年末年始における感染症予防対策についての注意喚起

全国的に感染者の増加が顕著となっており、本格的な冬の到来に向けて更なる感染拡大が懸念されています。年末年始は行事も多くなりますが、在学生にとっては、卒業や進級、資格取得等に係る重要な時期でもあります。学生、教職員の皆さまには、改めて下記の感染予防・防止策に努めていただけますようお願いいたします。

1) 年末年始は人の移動が集中し「密」になりがちのため、帰省等の時期や期間をずらすことなどを検討してください。やむを得ない事情がある場合を除いて、可能なかぎりこの時期の帰省や旅行は控えてください。COVID-19は発症の数日前から感染力があると報告されています。家庭によって状況が異なると思いますので、熟慮の上判断してください。帰省する場合でも移動中の感染対策を確実にして、宴会等は極力控え、体調不良となった場合は会食や外出をせず、滞在先の医療機関や保健所にご相談下さい。

2) 感染リスクの高い5つの場面を避けて過ごすようにして下さい。

不特定多数の人が密集し、かつ大声等の発生を伴う行事、スポーツ活動、パーティー等への参加は控えてください。飲酒を伴う懇談会及び大人数や長時間に及ぶ飲食は感染リスクの高い行動となりますので、控えてください。会食を行う際は、少人数で短時間・席を斜め向かいにとる・会話時はマスクを着用する・換気が適切に行われているガイドラインを遵守した店を選択する・体調が悪い人は参加しないなど感染リスクの低い会食としてください。

【 感染リスクの高い5つの場面 】

- ① 飲酒を伴う懇談会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

○感染リスクが高まる「5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」

内閣官房 <https://corona.go.jp/proposal/>

○催物の主催者が存在しない行事における感染防止策の徹底について

内閣官房 https://corona.go.jp/news/pdf/jimurenraku_20201026.pdf

3) 感染拡大を防ぐためにマスクの着用が強く推奨されています。色々な種類のマスク等が販売されていますが、近年の研究では飛沫を出す側と吸い込む側、両者の距離感やマスク着用状況、マスクの素材(性能)によっても、防御効果に大きな違いが生まれることが分かっています。今一度、マスクについて正しく理解し、適切に使用することで、より一層の感染予防策を徹底してください。家庭内で体調不良となった同居者がいる場合には、家庭内でも互いにマスクを着用しましょう。

○マスクの効果 内閣官房 <https://corona.go.jp/proposal/>